

## 銀行貸出を通じた金融政策ショックの国際的な伝播： 豪州とニュージーランドの場合

龍谷大学 鈴木智也

アジア太平洋地域内では国境を越えた経済取引が増大している。この地域が今後も力強い経済成長を維持していくためには、各国が銀行市場を他国に開放して健全な銀行市場を築いていくことが求められる。しかしながら、域内の多くの国では、外国銀行がリテール分野に参加したり、外国人投資家が国内銀行を所有したりというのは、実際には難しい。そういった国内銀行保護の背景にあるのは、海外からの国内銀行市場参入が金融市場のコントロール喪失に繋がるのではないかという政策担当者の恐れである。たとえば、極端なケースとして、自国の銀行貸出市場がある国の銀行に占拠されているとしよう。そのような場合、国内で景気引き締め策を取る気がなくても、本店所在地の国で資金が不足した場合、銀行が本国へ資金を移動させ、自国内で貸出が不足して景気の足を引っ張るかもしれない。この研究全体の目的は、国内銀行市場が海外からのプレーヤーに占拠された場合に、銀行の資金移動によって金融政策ショックが外国から伝播してくるという仮説を検定する。ここで、ニュージーランドの銀行貸出市場ではオーストラリア系の銀行が圧倒的なシェアを誇っているという状況なので、オーストラリアからニュージーランドへの金融政策ショックの伝播を分析対象とする。